

マヨール広場

Plaza Mayor

サン・イシドロ教会付属学校

Colegiata de San Isidro

王宮、マヨール広場、サン・フランシスコ・エル・グランデ教会で囲まれたトライアル・ゾーンは1561年にフェリッペ2世によりスペインの首都がマドリッドになってから、オーストリア王家の最後の君主であったカルロス2世の逝去した1700年までのオーストリア王家治世時代に開発された町の中核部にあたる。この時代の混沌とした都市開発の結果、民衆と社会の中心となる広場として「マヨール広場」が作られ、今日に至るまで近くにある「プエルタ・デル・ソル広場」と競い合っている。



- マヨール広場
- アルコ・デ・クチリエーロス
- クチリエーロス通り
- サン・ミゲル市場
- ビーリャ広場
- カルボネラス修道院
- サン・ミゲル教会
- サクラメント修道院
- ドウツェ・デル・ウセダ宮殿
- アブランテス宮殿
- 陸橋
- ラス・ビスティエリャス
- サン・フランシスコ・エル・グランデ教会
- 緑十字広場
- サン・ペドロ教会
- サン・アンドレス教会
- ロス・カールス広場
- プエルタ・デ・モーロス
- カーバ・バッハ



サン・フランシスコエル・グランデ教会



マヨール通り
Calle Mayor
オーストリア王朝治世下のマドリッドで最も重要な通りであった。プエルタ・デル・ソルからクエスタ・デ・ラ・ベアガ通りへつながるこの通りは改修もあまりされず、建設された当時の姿がほぼ保存されている。

おすすめポイント



おすすめスポット

- サン・フランシスコ聖堂
- マヨール広場とアルコ・デ・クチリエーロス
- ビーリャ広場と市庁舎
- シスネーロスの家
- サン・ミゲル教会
- ビスティエリャス
- サン・アンドレス教会
- サン・フランシスコ聖堂
- サン・イシドロ修道院
- カーバ・アルタ、カーバ・バッハ
- サンタ・クルス宮殿

おすすめレストラン

- マヨール広場には手ごろな値段のスペイン料理やインターナショナルメニューのレストラン、バラエティに富んだおつまみバールが多数ある。
- カサ・ボティン.Cuchilleros 17
- カサ・ルシオ Cava Baja, 35
- カサ・バッコ Puerta Cerrada
- グレ・エチエア Plaza de la Paja 12



ビーリャ広場にあるアルバロ・デ・パサン像。



マヨール広場
Plaza Mayor

マドリッド市が誇る最も美しく、歴史的な広場。マドリッドに来たら必ず訪れたい場所である。建築の美しさを鑑賞できるだけでなく、多数の「タパスバル(スペイン風カジュアルレストラン)」や、楽しい雰囲気のテラスが並ぶおしゃれでおいしい散策を楽しもう。

アルコ・デ・クチリエーロス
Arco de Cuchilleros
マヨール広場とカーバ・プエルタ・セラダを結ぶで、伝統的なメゾン(居酒屋)アルバーに行く観光客や学わう所。



サン・イシドロ教会 Colegiata de San Isidro

マヨール広場へ行く途中に「サン・イシドロ教会」がある。この教会は1767年にカルロス3世によりイエズス会が追放されるまではイエズス会の教会で「サン・フランシスコ・ハビエル教会」と呼ばれていた。その後、当時のスペイン君主がサン・アンドレス礼拝堂にあったマドリッドの守護聖人であるサン・イシドロと、市庁舎の祈念所にあったその妻、サンタ・マリア・デ・ラ・カベッサの遺体をサン・イシドロ教会へ移すように命じた。現在のアルムデナ大聖堂が建築されるまで、一時的なマドリッドの大聖堂的役割を果たす正式な通達が1885年出された。

聖人とその妻

El santo y su esposa

4つの柱からなっている石造りの教会の正面はマドリッドの守護聖人サン・イシドロとその妻、サンタ・マリア・デ・ラ・カベッサの2つの像で装飾されている。

守護聖人の遺体

Los restos del patron

同教会はフェリッペ2世の姉妹であるドイツのマリア女帝がイエズス会に残した遺贈金を使って建てられた。1560年からイエズス会があった場所に現在のサン・イシドロ教会の建築工事が1622年に始まった。当初はサン・フランシスコ・ハビエルを祭るための教会として木組みの祭壇が作られた。イエズス会の追放により、1768年、カルロス3世は教会の建物を3つの部分に分けることにし、1つは住居として、1つは修道院(サン・イシドロ・レアル・スクールあるいは建築学校と呼ばれている部分)、もう1つは

ベンツゥーラ・ロドリゲスにより学校付設の教会となった。その後、同教会は1885年に大聖堂に昇格した。大祭壇にはサン・アンドレス教会から移されたサン・イシドロラブラドルの遺灰が入っている箱が置かれている。

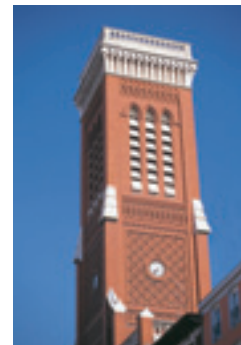


サン・イシドロ学校 Instituto de San Isidro

サン・イシドロ教会の隣にサン・イシドロ学校がある。1545年からイエズス会が「王立アカデミー」と呼ばれていたものだったが、イエズス会の追放と共に学校も同じ運命をたどり、カルロス3世が1770年に学校としての環境を整えるため、図書館を建設、ラテン語、セム語、ギリシア語、修辭学、詩学、などの講義がなされるようになった。現在の姿の学校は1845年に設立された。

サンタ・クルス宮殿と教会 Palacio e iglesia de Santa Cruz

トレド通りをマヨール広場の方向に進み、カーブを描くインペリアル通りに入ると、そのままプロビンシア広場へたどりつく。プロビンシア広場の隣のサンタ・クルス広場に同名のサンタ・クルス・パレスという建物があり、これはかつて宮廷刑務所があり、現在は外務省の建物となっているが、そこにある古い石碑の下にプロビンシアの公証文書が保管されていたことから、「プロビンシア広場」の名前がつけられた。ロマン主義作家エスプロンセダ、アルカラ・ガレーノ、ラファエル・デル・リエゴ、盜賊ルイス・アンデラスなどがここから「プエルタ・デ・トレド(トレドの門)」へ連れて行かれ処刑された。



サンタ・クルス・パレス

Palacio de Santa Cruz

このちょっと風変わりな建物はこれまでいろいろな役割を果たしてきた。まず、最初は宮廷刑務所、それから謁見室として使われた。1634年、フェリッペ4世時代は建築家ファン・パウティスタ・クレセンディにより宮廷刑務所として建設されたが、すぐに手狭になり、コンセプション・ヘロニマ通りにある

建物が付属刑務所として追加された。横長の2階建ての建物で、十字架のついた2つの大きな塔がそびえている。建物の正面にはスペインの武器と天使が表された紋章がある。パレスの中に石造りの大きな階段があり、ドリド式、トスカナ式の柱に円アーチ形の2つの側廊が特徴的である。



(上) サンタ・クルス・パレス (下) 昔の刑務所にある石碑。

サンタ・クルス教会

Iglesia de Santa Cruz

サンタ・クルス・パレスの横、プロビンシア広場にある高い塔を持つ教会。近くにある宮廷刑務所の死刑囚の最後の日々を共に過ごした「平和と慈悲」修道会が泊まっていた。また、1598年、有名な演劇作家ロペ・デ・ベーガとファナ・デ・グアルドの結婚式が行われた教会である。

